

# 最先端の重粒子線がん治療

日経 スペシャル **健康セミナー21**

2018年春、大阪で初となる重粒子線治療施設が誕生します。重粒子線による最先端の放射線治療は、病巣に直接照射し、正常細胞への影響を最小限に抑える治療法として、大きく期待されています。重粒子線がん治療と新施設の役割などについて議論します。

日時 **2018年3月6日(日)**  
13:30~15:45 (開場13:00)

会場 **グランフロント大阪**  
グランフロント大阪北館タワーC8 階  
アレクシヤキャピタルカンファレンスルームタワーC RoomC01+02

主催 **日本経済新聞社**

後援 **放射線医学総合研究所、  
医用原子力技術研究振興財団、  
大阪府、大阪府立病院機構、  
大阪府医師会、生命保険協会 大阪府協会**

協賛 **日立製作所 関西支社**

協力 **大阪重粒子線施設管理**

定員 **200名** (入場無料)

## プログラム

※プログラムは予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

13:30~14:10 基調講演

### 「からだにやさしい重粒子線がん治療」

放射線医学総合研究所 重粒子医学センター長 **鎌田 正氏**

1979年北海道大学医学部卒業、94年科学技術庁放射線医学総合研究所重粒子治療センター治療診断部治療課課長等を経て、2008年より現職。千葉大学大学院医学研究科、群馬大学医学部医学科、新潟大学大学院医歯学総合研究科客員教授等を併任。



14:10~14:30 講演①

### 「医療の公民協力が大阪を活性化する」

大阪府立病院機構 理事長 **遠山 正彌氏**

1972年大阪大学医学部卒業、86年同大学医学部教授、99年同大学大学院医学系研究科教授、2005年同大学大学院医学系研究科長および医学部長等を経て、12年より現職。同大学大学院連合小児発達学研究所特任教授、近畿大学東洋医学研究所客員教授等を併任。



14:30~15:00 講演②

### 「大阪における重粒子線がん治療施設の計画」

大阪大学大学院医学系研究科放射線治療学講座 教授 **小川 和彦氏**

1991年千葉大学医学部卒業、92年琉球大学医学部放射線医学教室、2003年九州大学生体放射線医学研究所分子腫瘍学分野国内研究員、05年ハーバート大学マリチャーセツ総合病院放射線腫瘍科国外研究員、07年琉球大学医学部附属病院准教授を経て、11年より現職。



15:00~15:45 パネルディスカッション

### 「重粒子線がん治療 大阪プロジェクトへの期待」

放射線医学総合研究所 重粒子医学センター長 **鎌田 正氏**  
大阪大学大学院医学系研究科放射線治療学講座 教授 **小川 和彦氏**  
大阪府立成人病センター 放射線治療科 主任部長 **手島 昭樹氏**  
大阪重粒子線施設管理 代表取締役社長 **木曾 賢造氏**  
日立製作所 ヘルスケア社 CTO **長我部 信行氏**

パネリスト



手島 昭樹氏



木曾 賢造氏



長我部 信行氏

お申し込み方法

申込締切:2月22日(月)

<http://adnet.nikkei.co.jp> **日経アドネット**

【お問い合わせ】「日経健康セミナー21」事務局 TEL: 06-4708-1200

(受付時間/10:00~18:00 土・日・祝日を除く)

※お申し込み多数の場合は抽選のうえ、全員に当選、落選のご案内をメールにてお送りします。また当選の方には、後日受講券をお送りいたしますので、当日受講券をお持ちください。当選の発表は受講券メールの連絡をもって代えさせていただきます。※ご記入いただいた個人情報はご本人の承諾なく本セミナーの実施目的以外には使用いたしません。